



地域安全対策ニュース

平成24年度 名古屋市犯罪抑止対策

愛知県警察本部
生活安全総務課

名古屋市平成24年4月末 刑法犯等認知状況について

平成24年4月末の名古屋市内における刑法犯認知件数は12,674件で、前年同期に比べ2,140件（14.4%）減少しました。名古屋市犯罪抑止対策の罪種別対策として集中的に対策を推進する罪種（5項目）については、4月末（累計）はすべて減少しているものの、4月単月は住宅対象侵入盗（空き巣、忍込み及び居空き）が13件、万引きが25件増加しています。

平成24年		刑法犯	ひったくり	住宅対象 侵入盗	自動車 関連窃盗	自動車盗			自転車盗	万引き
						自動車盗	部品ねらい	車上ねらい		
4月末	認知件数(件)	12,674	160	651	2,834	468	928	1,438	2,172	953
前年対比	増減(件)	-2,140	-253	-96	-326	-74	-68	-184	-372	-120
名古屋市	増減比(%)	-14.4%	-61.3%	-12.9%	-10.3%	-13.7%	-6.8%	-11.3%	-14.6%	-11.2%

※ 数値は(県)犯罪統計平成24年4月末日暫定値を引用。4月末で、上記罪種の中で政令指定都市ワースト1となっているものは、「住宅対象侵入盗」「自動車盗」及び「部品ねらい」である。

名古屋市内において多発した罪種(4月単月)

- 住宅対象侵入盗（16区中8区が増加）
千種(+8)、東(+3)、中村(+10)、中(+2)、昭和(+1)、瑞穂(+1)、名東(+5)、守山(+3)
- 万引き（16区中8区が増加）～中村区及び中区が急増～
中村(+16)、中(+21)、瑞穂(+1)、熱田(+4)、港(+5)、名東(+4)、天白(+2)、守山(+8)
注：カッコ内数字は4月単月での昨年同期比

区別の特徴(4月単月)

- 中村区
住宅対象侵入盗が13件(+10)、万引きが50件(+16)で大幅に増加し、5罪種合計で168件(+15)と増加【住宅対象侵入盗は、空き巣が11件(+8)と大幅に増加したことが要因】
- 緑区
車上ねらいが29件(+10)、自転車盗が47件(+13)で大幅に増加 ※3月単月は部品ねらいと車上ねらいが10件以上増加【車上ねらいの被害場所は、駐車場18件(店舗13、月極5)、住宅5件、道路上3件】
- その他各区で10件以上増加している罪種
中区～万引き50件(+21)、昭和区～車上ねらい34件(+10)、港区～部品ねらい26件(+11)
【昭和区～車上ねらいの被害場所は、駐車場15件(月極7、店舗等8)、道路上11件、住宅4件】
【港区～部品ねらいの被害場所は、駐車場14件(月極10、店舗等4)、住宅6件】

主な施策

防犯カメラ設置の働きかけ

- 東区(車上ねらい対策)
車上ねらいが多発していた百貨店に防犯カメラ設置を働きかけた結果、同店舗立体駐車場内に3台設置された。
- 中川区(部品ねらい対策)
多発する部品ねらいの対策として中川区建設業協会に協力を求めたところ、中川区防犯協会に対して移動式防犯カメラ5台の寄贈がされた。犯罪発生状況を分析し、設置箇所を選定する。
- 名東区(住宅対象侵入盗・車上・部品ねらい対策)
共同住宅に対する防犯対策としてマンション管理事業者に設置を働きかけたところ、マンション駐車場等に9台設置された。